

優秀賞

福島県福島市立吉井田小学校 「2019年度 大運動会」

学校紹介

本校では、「オリンピック・パラリンピックで 吉井田っ子が 輪になる心」をキャッチフレーズに、オリンピック・パラリンピック教育推進校として様々な取組を行っている。オリンピックやパラリンピアンへの招聘といったイベント開催に留まらず、各学年で教科・領域における学習内容を、オリンピック・パラリンピック教育と関連させながら取り組んでいるのが特色である。

取組概要等

【取組概要】

毎年春に行っている運動会の内容を、オリンピック・パラリンピックの視点から見直し、昨年度に引き続き「吉井田オリンピック」を実施した。特に、開会式や競技種目の内容について創意工夫して実施した。

【取組のねらい】

全ての子どもたちが楽しんで参加するとともに、全力で取り組むことを通して、フェアプレー精神や最後まであきらめない気持ちを醸成することをねらいとした。さらに、東京2020大会への機運を高めるように工夫した。

【創意工夫した点】

入場行進前に本校マーチングバンド部員によるファンファーレの演奏を行った。開会式後に準備運動を兼ねて「東京五輪音頭-2020-」と<NHK> 2020応援ソング「パブリカ」を使用したダンスを全校生徒と教師で行った。

各学年の種目に、オリンピック・パラリンピックを強く意識したものを取り入れて行った。東京2020スポーツピクトグラムを使用したり、競技内容を工夫するなどして実施した。子どもたちによる運動会スローガンを作成する中で、特に「模擬聖火リレー」を意識した文言がまとまった事を受け、模擬聖火をデザインしたカードに各学級のめあてを書き、校内に掲示した。また、会場内に手作りの模擬聖火台を配置した。

【取組結果や効果】

子どもたちのオリンピック・パラリンピックへの機運が盛り上がるとともに、特に、パラリンピック競技種目への興味・関心が高まった。また、保護者への啓発にもつながった。運動会当日だけでなく、当日までの練習の過程にこそ大きな効果が見られたのが収穫だった。

【来年度以降の展開予定など】

オリンピック・パラリンピックを意識した開会式等の内容や子どもたちの機運の盛り上げ方、競技種目等の工夫については、今後も継続して行い、全校一丸となって東京2020大会への機運を高めていきたい。

プログラムの様子



模擬聖火台や東京2020マスコット、東京2020エンブレムを会場に配置するなど、オリンピック・パラリンピック競技大会の雰囲気づくりをして運動会を進めた。



準備運動として、休み時間に練習した「東京五輪音頭-2020-」と〈NHK〉2020応援ソング「パプリカ」を全校生徒と教師で踊った。



各学年の種目に、オリンピック・パラリンピック競技を意識したものを取り入れた（写真はポッチャから考えた種目）



運動会のスローガンを作成するとともに、聖火をデザインしたカードに各学級のめあてを書いて掲示した。

日本スポーツ協会からのコメント

- ・フェアプレー精神や最後まであきらめない気持ちを醸成する事をねらいとしている点を評価しました。
- ・種目だけでなく、校内掲示など内容が多岐にわたっている点、全体において東京2020大会の機運を高めるよう、創意工夫がなされていた点が素晴らしかったです。

受賞のコメント

児童会の子どもたちが中心となり、運動会を盛り上げるため模擬聖火台や聖火のめあてカードを考案しました。全校でダンスを踊り、地域にオリンピック・パラリンピックをアピールすることができました。